

島根県公共事業再評価 対応方針（案）

作成日 令和3年 6月

番号	事業概要・事業主体等	事業の進捗状況	事業採択時の状況及び社会情勢の変化等	事業効果	環境への配慮 事業を中止した場合の影響	今後の県の方針案
	(事業概要) (事業主体の根拠)	(事業採択・着手・完了予定年度、経過年数) (進捗状況と今後の見込み)	(事業導入の経緯・目的) (事業を取り巻く社会情勢) (事業に対する地元情勢・計画の熟度)	(費用対効果) (コスト削減・代替案等) (その他の効果)	(生活環境・自然環境への影響) (事業を中止した場合の影響)	(継続・中止)
7	(事業名・地区) 神戸川 総合流域防災事業  (事業位置) 飯石郡飯南町赤名 地内  (事業費) 783,700千円  (事業概要) 全体延長 L=550m  掘削、橋梁架替 護岸、堰改築  (事業主体の根拠) 河川法第9条2項  (再評価区分) ②事業採択後10年 を経過している継続 中の事業  (担当部課名) 土木部河川課	(事業採択・着手・完了予定年 度、経過年数) 事業採択年度：平成23年度 用地着手年度：平成23年度 工事着手年度：平成24年度 完了予定年度：令和7年度 経過年数：10年  (進捗状況と今後の見込み) 進捗率：65% 用地：90% 工事：55%	(事業導入の経緯・目的) 本事業区間は河川断面が小さく 流下能力が低いことが原因で、 過去にたびたび浸水被害が発生 した。平成18年の洪水により 大きな被害が発生したことから 治水対策事業に着手している。  (事業を取り巻く社会情勢) 飯南町によりハザードマップが 作成されているが、事業区間が 浸水危険箇所位置づけられて いることから避難経路が長くなり 地元住民の負担となっている。  (事業に対する地元情勢・計画 の熟度) 沿川住民は再度災害防止のため、 河川改修の早期完成を強く要 望しており、事業には協力的 である。	(費用対効果) $b/c = 2.02$  (コスト削減・代替案等) ①河床掘削による護岸の取り壊 しを少なくするため既存護岸を 利用した根継工を導入し、その 対岸を掘削して広げる計画と している。 ②既設の堰を可動堰とする ことで必要最低限の河道断面 となるよう工夫している。 ③掘削土砂は他事業間との 調整により残土の有効利用 を図る。  (その他の効果) 飯南町との調整により 本事業に合わせて右岸に 町道が新設される計画で あり、より安全な生活基盤 が確保される。	(生活環境・自然環境への影響) 新設する護岸に環境保全型 ブロックを採用することで植 生の早期復元や水際の多様 化を図る計画としている。  (事業を中止した場合の影響) 流下能力が改善されないこと から同規模の洪水が発生し た場合、家屋等が再度浸水 被害を受ける。  ・浸水被害履歴 S40、47、50、53、55、58、61 H18  近年の損害履歴 H18：床上1戸、床下5戸、 浸水面積1.5ha	(方針案) 継続  (継続・中止の理由) 現河川の流下能力は依然と して低いままであり、橋梁 の架け替え、堰の改築を進 め、早期に事業効果を発 現させる必要がある。

# 神戸川 総合流域防災事業

## 河川概要

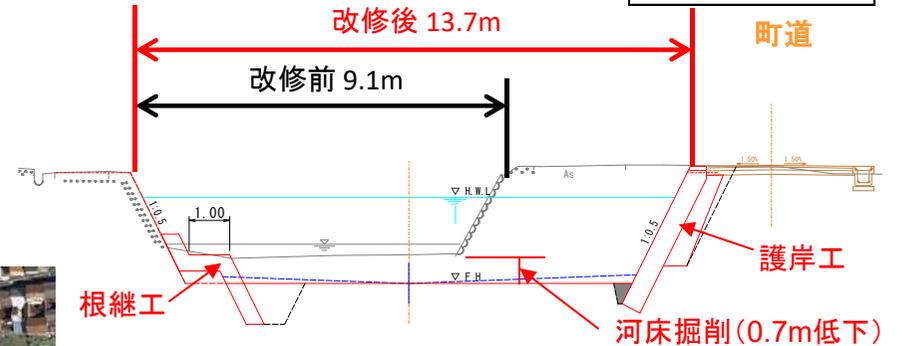
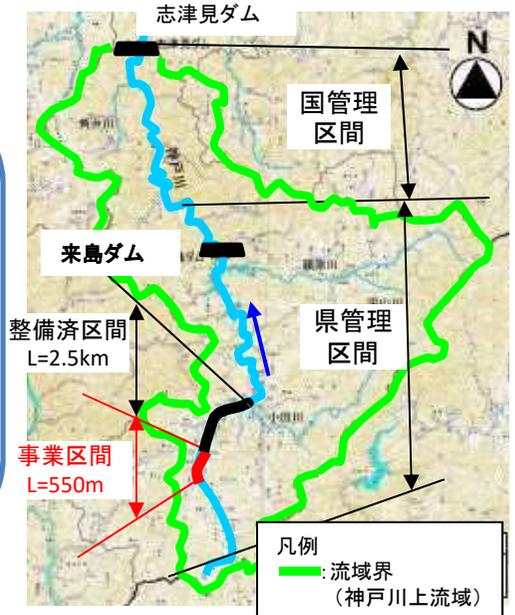
神戸川は、島根県飯石郡飯南町から流下し、日本海に注ぐ流域面積471.3km<sup>2</sup>、延長79.7kmの一級河川である。

神戸川上流域(主に飯南町からなる区域)では過去何度となく浸水被害が発生しており、これまでに飯南町下赤名から上来島にいたる約2.5kmの区間において河川改修を実施している。当該事業区間は治水安全度が不足していることから平成18年7月豪雨では家屋浸水被害が発生している。

神戸川の河川改修を行うことで、周辺地域の安全・安心に大きな役割を果たす。

## 事業概要

1. 年超過確率1/30規模の洪水に対して浸水被害解消を図る。
2. 河川の拡幅、河床掘削、橋梁架替、農業用取水堰の改築により流下能力を向上させる。



## 7 神戸川 流域治水対策河川事業 費用便益比

### ①費用(億円)

	事業費	維持管理費	合計
基準年	R3		
単純合計	7.84億円	2.16億円	10.00億円
基準年における 現在価値(C)	8.60億円	0.93億円	9.52億円

### ②便益

	被害軽減期待額(便益)				残存価値 (便益)	合計
	一般資産被害 軽減期待額	農作物被害 軽減期待額	公共土木施設 被害軽減期待額	間接被害 軽減期待額		
基準年	R3					
完成予定年	R7					
単年便益 (初年便益)	0.40億円	0.00億円	0.31億円	0.11億円		0.82億円
基準年における 現在価値(B)	9.40億円	0.01億円	7.19億円	2.53億円	0.08億円	19.21億円

※ 間接被害: 営業被害、応急対策費等の間接的被害 ※ 残存価値: 将来において施設が有している価値

### ③結果

費用便益比(事業全体) B/C	2.02
-----------------	------